

# 全国学力・学習状況調査について

## 1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

平成30年4月17日（火）

## 3. 調査の対象

泉佐野市立佐野台小学校 第6学年、全児童

実施児童数（ 26 人）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

### (3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

## 平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

### 1. 全体の傾向

#### 「A区分問題」

- 平均正答数の全国的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況である。

平均正答率（本校 71／泉佐野市 67／大阪府 68／全国 70.7）

#### 「B区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、上位層と下位層が少なく、中位層が多く分布している。

平均正答率（本校 55／泉佐野市 51／大阪府 52／全国 54.7）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
<p><b>【話すこと・聞くこと】</b></p> <p>○相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことに課題がある。</p> <p>1 図書館への行き方の説明として適切なものを選択する。 (80.8/90.8)</p> <p><b>【読むこと】</b></p> <p>○登場人物の心情について情景描写を基に捉えることがよくできている。</p> <p>4 『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文に取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する。 (88.5/74.0)</p> <p><b>【言語に関する事項】</b></p> <p>○文の中における主語と述語との関係などに注意して文を正しく書くことに課題がある。</p> <p>5 【春休みの出来事の一部】の中で…部と一部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す。 (34.6/35.5)</p>	<p>○日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使うことに課題がある。</p> <p>6 慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する。(心を打たれる) (80.8/90.4)</p> <p>○相手や場面に応じて適切に敬語を使うことがよくできている。</p> <p>7 【話を聞いている様子の一部】の□ア、□イに入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する。 (69.2/56.0)</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことがよくできている。</p> <p>8 ア (80.8/73.4)      8 ウ (80.8/82.2)</p> <p>○漢字によっては文の中で正しく使うことに課題がある。</p> <p>8 イ (76.9/82.8)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p><b>【話すこと・聞くこと】</b></p> <p>○話し合いの参加者として、質問の意図を捉えることは概ねできている。</p> <p>1一 【話し合いの様子の一部】における木村さんの発言の意図として、適切なものを選択する。(84. 6/82. 5)</p> <p>○計画的に話し合うために、司会の役割について捉えることは概ねできている。</p> <p>1二 【話し合いの様子の一部】における司会の発言の役割として、適切なものを選択する。(80. 8/77. 5)</p> <p><b>【書くこと】</b></p> <p>○話し手の意図を考えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題がある。</p> <p>1三 これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取りあげ、口を書く。(38. 5/33. 8)</p>	<p>○目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えることに課題がある。</p> <p>2一 「かみかみあえ」についての【おすすめする文章】の最初の部分に口のように書いた理由として適切なものを選択する。(42. 3/57. 6)</p> <p>○目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことに課題がある。</p> <p>2二 【おすすめする文章】の口に、虫歯を防ぐ効について、【保健室の先生の話からわかったこと】を取り入れて詳しく書く。(15. 4/13. 5)</p> <p><b>【読むこと】</b></p> <p>○目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことはできている。</p> <p>3一 山下さんは、どのようなことが知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだのか、その説明として適切なものを選択する。(57. 7/49. 4)</p>

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にある  
平均正答率（本校 60／泉佐野市 62／大阪府 63／全国 63.5）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にある  
平均正答率（本校 51／泉佐野市 48／大阪府 51／全国 51.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p><b>【数と計算】</b> ○1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことに課題がある。 1（2）針金0.4mと、0.4mの重さの60gと、1mの重さが、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ（53.8/66.7） ○小数の除法の意味について理解することに課題がある。 2 答えが<math>12 \div 0.8</math>の式で求められる問題を選ぶ（38.5/39.9）</p> <p><b>【数と計算】【数量関係】</b> ○除法で表すことができる二つの数量の関係を理解することに課題がある。 1（1）針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを書く（57.7/62.9） ○1に当たる大きさを求める問題では、除数が小数である場合でも除法を用いることを理解することに課題がある。 1（3）針金1mの重さを求める式を選ぶ（42.3/65.3）</p>	<p><b>【量と測定】</b> ○異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解できている。 4（1）面積がそろっているアとイの二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ（96.2/87.8） ○<math>180^\circ</math>の角の大きさを理解できている。 5（1）角いの角の大きさが、何度であるかを選ぶ（100/94.4） ○<math>180^\circ</math>や<math>360^\circ</math>を基に分度器を用いて、<math>180^\circ</math>よりも大きい角の大きさを求めることができている。 5（2）分度器の目盛りを読み、<math>180^\circ</math>よりも大きい角の大きさを求める（65.4/58.5）</p> <p><b>【図形】</b> ○円周率の意味について理解することに課題がある。 7（1）円周率を求める式として正しいものを選ぶ（38.5/41.6）</p> <p><b>【数量関係】</b> ○百分率を求めることに課題がある。 8 200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ（38.5/52.9）</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p><b>【図形】</b>  ○合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことに課題がある。  1 (1) 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ (65.4/71.7)</p> <p><b>【量と測定】【図形】</b>  ○図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が<math>360^\circ</math>になっていることを記述できている。  1 (2) 一つの点の周りに集まった角の大きさの和が<math>360^\circ</math>になっていることを、着目した図形とその角の大きさを基に書く (65.4/48.2)</p> <p><b>【数と計算】【量と測定】【数量関係】</b>  ○示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることに課題がある。  2 (1) 全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何分かを書く (65.4/70.5)</p>	<p><b>【数量関係】</b>  ○メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述することに課題がある。  3 (1) メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く (23.1/20.7)  ○棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを適切に判断することに課題がある。  3 (2) 一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ (15.4/23.9)</p> <p><b>【数と計算】【数量関係】</b>  ○示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができている。  4 (1) 「32, 40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを、分配法則を用いた式に表す (69.2/62.7)</p> <p><b>【数と計算】</b>  ○折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断することに課題がある。  5 (2) 4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を作ったときの、30個目の折り紙の輪の色を選ぶ (50.0/66.5)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は大切だと思いますか	92.3	92.1		0.2
算数の授業の内容はよく分かりますか	77.0	83.4	◇	6.4
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	80.7	74.3	◇	6.4
算数の問題の解き方が解らない時は、諦めずにいろいろな方法を考えますか	84.6	78.4	◇	6.2
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	88.5	64.4	○	24.1
算数の授業で学習したことは、将来、社会にでたときに役に立つと思いますか	92.3	90.3		2.0
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	80.8	78.5		2.3
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	80.8	80.4		0.4
算数の授業で問題の解き方や考え方が解るようにノートに書いていますか	76.9	85.8	◇	8.9
調査問題の解答時間は十分でしたか（算数A）	65.4	80.3	○	14.9
調査問題の解答時間は十分でしたか（算数B）	46.2	66.0	○	19.8

- 「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」児童の割合は全国と比べて高く、昨年度よりも高い。(H29 78.2)
- 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」児童の割合は全国と比べて高く、昨年度よりも高い。(H29 65.2)
- 「算数の授業で問題の解き方や考え方が解るようにノートに書いている」児童の割合は全国と比べて低い。(H29 69.5)
- 「算数Aの問題において、調査問題の解答時間は十分だった」と感じている児童の割合が全国と比べて低く、昨年度よりも低い。(H29 75.2)
- 「算数Bの問題において、調査問題の解答時間は十分だった」と感じている児童の割合が全国と比べて低く、昨年度よりも低い。(H29 56.5)

## 平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

### 1. 全体の傾向

- 平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にある。  
平均正答率（本校 60／泉佐野市 57／大阪府 57／全国 60.3）
- また、主として「知識」に関する問題、主として「活用」に関する問題、ともに平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べほぼ同じ状況にあるが、「知識」より「活用」の方が正答数は多い。  
主として「知識」に関する問題（本校 76／泉佐野市 77／大阪府 75／全国 78.0）  
主として「活用」に関する問題（本校 57／泉佐野市 53／大阪府 53／全国 56.2）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

理科「知識」	特徴がみられた設問
<p><b>【生命】</b> ○骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解するところに課題がある。 1（3）腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く。 (69.2／79.4)</p> <p><b>【地球】</b> ○堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。 2（1）流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ。 (88.5／83.6)</p>	<p><b>【物質】</b> ○ろ過の適切な操作方法を身に着けることに課題がある。 4（1）ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気づき、適切に操作する方法を選ぶ。 (69.2／71.1)</p>

理科「活用」	特徴がみられた設問
<p><b>【地球】</b> ○より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述することができている。 2（3）一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く。 (38.5／20.1)</p> <p><b>【物質】</b> ○実験結果から言えることだけ言及した内容に改善し、その内容を記述することに課題がある。 4（4）食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導き出す結論を書く。 (23.1／35.9)</p>	<p><b>【エネルギー】</b> ○乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用することができている。 3（1）風が吹く方向を変えるためにモーターが逆になる回路を選ぶ。 (76.9／63.5)</p> <p>○実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考え方に改善することに課題がある。 3（3）回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ。 (42.3／59.4)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は大切だと思いますか	96.2	85.4	○	10.8
理科の授業の内容はよく分かりますか	96.2	89.4	◇	6.8
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	96.1	87.0	◇	9.1
理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	46.1	54.5	◇	8.4
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	96.1	89.1	◇	7.1
観察や実験を行うことは好きですか	92.3	89.8		2.5
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	69.3	75.2	◇	5.9
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	92.4	81.8	○	10.6
5年生のとき、理科の授業がおもしろいと感じましたか	100	87.5	○	12.5
5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができましたか	88.5	75.1	○	13.4

- 「5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができた」児童の割合は全国と比べて高く、本校では全国との差が一番大きい。
- 「5年生のとき、理科の授業がおもしろい」と感じていた児童の割合が本校では10割になっており、全国と比べて非常に高い。
- 「理科の勉強は大切だ」と思っている児童の割合は全国と比べて高い。
- 「理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしている」児童の割合は全国と比べて低い。
- 「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」児童の割合は全国と比べて低い。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校 回答率 / 全国 回答率 >
【家庭生活の様子】	毎日決まった時刻に就寝・起床したり、朝食を食べたりする児童が全国に比べ、高い。 また、地域や社会で起こっていることに関心が高く、より良くするために考える機会であったり、地域の大人とかかわったりする機会が全国に比べ、20～30P 近く高い。 しかし、家の人と学校での出来事を話す児童の割合は全国に比べ低い。	○毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 <u>&lt;92.3 / 76.0&gt;</u>  ○毎日、同じくらいの時刻に起きている。 <96.1 / 88.8>  ○家の人と学校での出来事について話をする。 <73.0 / 80.5>  ○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。 <u>&lt;77.0 / 63.8&gt;</u>  ○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。 <u>&lt;69.3 / 49.9&gt;</u>  ○地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある。 <u>&lt;73.0 / 41.6&gt;</u>
【家庭学習の様子】	家で、自分で計画を立てて、勉強し、家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習をする児童の割合が高い。 また、学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上読書する児童の割合が全国に比べ、10P 近く高い。	○家で、自分で計画を立てて勉強をする。 <73.1 / 67.6>  ○家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習をする。 <u>&lt;88.4 / 70.1&gt;</u>  ○学校の授業時間以外に、普段、1日当たり2時間以上勉強している児童の割合 <38.4 / 29.3>  ○学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上読書する児童の割合 <u>&lt;30.8 / 19.3&gt;</u>

<p>【学校での 学習の様子】</p>	<p>先生は、自分のよいところを認めてくれていると思っている児童が全国を上回っている。また、将来の夢や目標を持って、学校のきまりを守りながら学校生活を送っている。</p> <p>学習面に関して、算数や理科の学習を好きと思っており、普段の生活の中で活用できないかと考えている児童も全国よりも10P 程度高い。しかし、まわりの人に説明したり、発表したり、そのためにノートに考えを書いたりする児童は全国よりも下回っている。</p>	<p>○先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う。  <u>&lt;96.1/85.3&gt;</u></p> <p>○算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。  <u>&lt;88.5/64.4&gt;</u></p> <p>○算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。  &lt;76.9/85.8&gt;</p> <p>○理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。  <u>&lt;73.1/64.7&gt;</u></p> <p>○理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりする。  &lt;46.1/54.5&gt;</p> <p>○理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのかを考える。  <u>&lt;92.4/81.8&gt;</u></p>
-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 本校の取組

### ◎これまでの取組

#### ①学習面

##### ◇朝の運動「UPタイム」

- ・毎朝15分間、全学年で体を動かす時間を設ける。
- ・朝から運動することにより、体力向上をめざすとともに脳が学習するための準備を整える。

##### ◇学習規律の確立「佐野台小学校学習の5ヶ条」(H30年度改訂)

- ・休み時間に、次の学習の用意をする。チャイム行動を心がける。
- ・話し方、聞き方、返答の仕方、姿勢について。

##### ◇学力向上の時間（Eタイム(給食後の15分間)、水曜日5限後の15分間)

###### <全学年>

- ・水曜5限後…漢字の学習、木曜日Eタイム…算数(計算)の学習

###### <5, 6年>

- ・月、水、金曜日Eタイム…国語と算数の既習学習の定着をめざした学習

##### ◇佐野台タイム

- ・基礎基本を中心に、年間を通して計画的に実施する。
- ・4, 5, 6年生に各3～4名の教師で指導にあたる。月曜6限に実施する。

##### ◇家庭学習の徹底「家スタ」

- ・年度初めに配付する家スタの手引きを参考に家庭学習に取り組む。
- ・1年生30分、2年生40分、……、6年生80分を目標に取り組み、家スタカードに記入し、提出する。

##### ◇読書

- ・図書での読み聞かせを実施する。・本の貸し出しの多い子を表彰し、しおりを配付する。

### ②生活面

##### ◇生活習慣の調査、家庭との連携

- ・生活習慣の調査を行い、子どもたちの朝食摂取や睡眠時間、テレビ等視聴時間を把握する。
- ・家庭との連絡を取りながら、食育や生活習慣改善の協力を求める。

### ◎これからの取組

#### ①学習面

##### ◇朝の運動「UPタイム」

- ・引き続き取組を続け、授業への集中力を高められるようにする。

##### ◇学習規律の確立

- ・学習環境を整え、学習規律の徹底を引き続き図り、落ち着いて学習に取り組ませる。

##### ◇学力向上の時間

- ・引き続き、Eタイム及び水曜日5限後の15分を基礎基本の定着を図るための時間として実施する。

##### ◇佐野台タイム

- ・引き続き、年間を通して取り組み、複数指導者での指導体制を活かして、基礎基本の定着を図る。

##### ◇家庭学習の徹底「家スタ」

- ・家スタカードを活用して、家庭で集中して宿題に取り組むように指導を続ける。
- ・全国と比べると、家庭での学習において復習や予習に取り組む児童の割合が少ないので、自ら課題を見つけ復習や予習に取り組めるようにする。

##### ◇読書

- ・様々な本との出会いの中で、語彙力や表現力の幅を増やしていけるように、府立図書館からの貸し出しなども利用して読書活動を充実させていく。

### ②生活面

##### ◇生活習慣の調査、家庭との連携

- ・生活習慣調査を行い、朝食の重要性を伝えていながら、朝食摂取の割合がどの学年でも高くなるように家庭と連携をとっていく。併せて睡眠時間、テレビやゲーム・携帯電話等の使用時間など生活習慣改善の協力が得られるように声かけを続ける。